

5. 交通

(1) 鉄道

■ 駅を利用する人が増加している。

中心市街地には、東武鉄道野田線、新京成電鉄線及び北総・公団線の3線が乗り入れています。新鎌ヶ谷駅は、平成9年から平成13年までの間に52.2%の増加を示しています(北総・公団線と新京成電鉄線、東武鉄道野田線では、新鎌ヶ谷駅開設の時期が異なる)。また、新鎌ヶ谷駅周辺においては、土地区画整理事業が進められており、今後も駅利用者が増加するものと思われます。

しかし、初富駅と東武鎌ヶ谷駅は、減少の傾向にあります。

◆ 市内各駅旅客輸送状況 (1日平均乗降客数)

	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	増減率 H13/H9(%)
新鎌ヶ谷駅	38,584	33,299	37,088	54,395	58,715	52.2
初富駅	8,121	7,973	7,742	7,170	6,981	△14.0
鎌ヶ谷駅	25,638	24,710	24,142	22,499	22,995	△10.3
合計	72,343	65,982	68,972	84,064	88,691	22.6

資料：統計かまがやH14

(2) バス

■ バスの利用率はあまり高くない。

中心市街地のバス路線は、ちばレインボーバスが運行する鎌ヶ谷線、(鎌ヶ谷市役所～白井車庫間、鎌ヶ谷市役所～白井駅間)の1路線2系統及び、コミュニティバス「ききょう号」があります。

しかし、鉄道網が整備されていることもあり、バスの利用率は高くありません。

◆ 鎌ヶ谷市コミュニティバス利用状況

		合計	Aルート (井草線・軽井沢線)	Bルート (西道野辺線・南初富循環線)	Cルート (東道野辺循環線・佐津間軽井沢線)	Dルート (中沢北初富線・富岡線)	1日当たりの利用者数
4月	利用者数	1,332	234	579	282	237	63.4
	運行日数	21	13	13	8	8	
5月	利用者数	2,056	631	496	667	262	93.5
	運行日数	22	13	13	9	9	
6月	利用者数	1,925	533	558	649	185	87.5
	運行日数	22	13	13	9	9	
7月	利用者数	2,241	781	475	720	265	101.9
	運行日数	22	13	13	9	9	
8月	利用者数	2,442	976	632	591	243	111.0
	運行日数	22	14	14	8	8	
9月	利用者数	1,758	660	487	430	181	79.9
	運行日数	22	13	13	9	9	
10月	利用者数	2,065	705	565	520	275	93.9
	運行日数	22	13	13	9	9	
11月	利用者数	2,004	563	726	482	233	95.4
	運行日数	21	13	13	8	8	
12月	利用者数	1,538	488	521	334	195	76.9
	運行日数	20	12	12	8	8	
1月	利用者数	1,326	502	372	308	144	66.3
	運行日数	20	12	12	8	8	
2月	利用者数	1,587	550	454	396	187	79.4
	運行日数	20	12	12	8	8	
3月	利用者数	1,850	634	475	493	248	80.4
	運行日数	23	14	14	9	9	

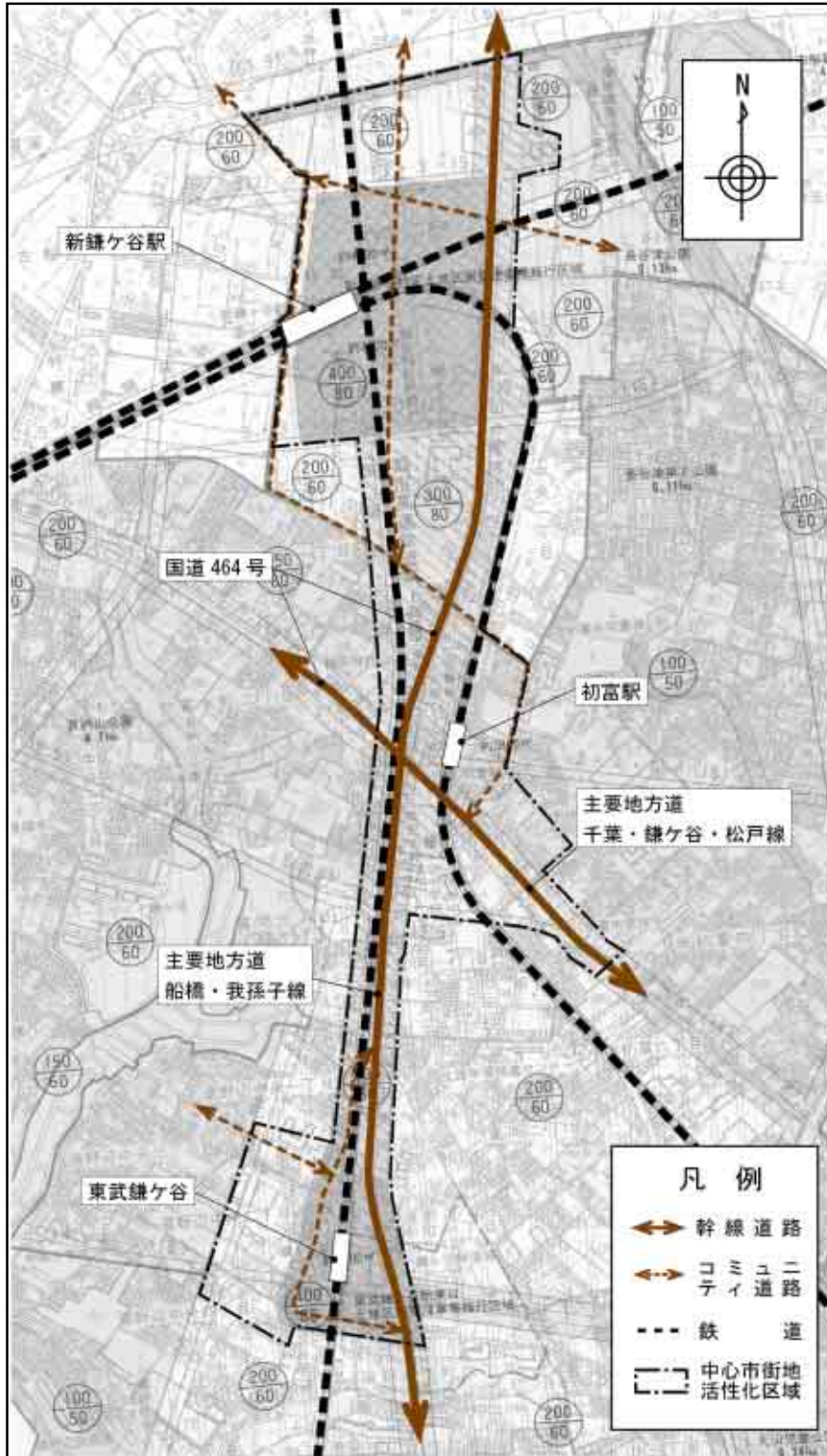
資料：統計かまがやH14



(2) 道路網

中心市街地における道路網は、国道464号及び県道2路線(船橋・我孫子線、千葉・鎌ヶ谷・松戸線)を幹線道路として、生活道路が構成されています。しかし、生活道路においては、幅員、線形ともに安全性に欠けるものも多く、整備改善が望まれます。

◆ 中心市街地の道路現況図



6. 公共公益施設

市の主要公共公益施設である市役所などの行政施設、小・中学校、図書館などの文教施設、三橋記念館などの文化施設が集中しており、この地区が市の中枢地域であることがうかがえます。

◆ 中心市街地の主な公共公益施設

